

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第043号

令和4年2月18日(金)発行

鹿児島の人、「今からあんたんちに来るね」と友人のところへ行くことをしゃべりがちです。これは、完全に英語と同じ発想です。行く相手の立場に立って行動を表現する。自分が「行く」のだけど、相手にとっては、「来る」ことになるから、「今からそっちに行くね」を、「今から来るね」と言ってしまうのです。英語の「I'm coming」と同じなのです。「go」なんだけど「come」を使って表現するのが鹿児島の人。これが方言だとなかなか気づいていないようです。「方言」って面白いですね。

zoomについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学校の授業でもzoom等を用いたオンライン授業を模索し、実施する場面があるかもしれません。皆さんは、実際にzoomを使ったことがありますか？

今回は、オンライン授業の受け方など少しだけzoomについて操作方法を学んでみましょう。

1. スマホのZoomアプリケーションの使い方:

ミーティングに参加する(アカウント登録なし)

1. **ステップ 1**: スマートフォンにズームアプリケーション(Apps)をインストール

iOS版, Android版, のどちらもズームのAppsが用意されています。それぞれのスマートフォンに合わせたAppsをInstallしましょう。“zoom”のキーワードで検索すると幾つか出て来ます。その中で、開発者が”zoom”になっているものが正しいAppsです! 違うAppsを入れることもあるので、要注意です!



2. **ステップ 2**: ズームを起動して, ”ミーティングに参加”をクリック(タップ)

授業に参加するだけなので, ズームのアカウントを持っていなくても使えます。学校では, 生徒(参加者)に事前にアカウントが作成してあります。



スマートフォンでzoomを起動すると左のような画面が出てきます。

ここでは, 授業に参加するので, 画面下方に青色で表示されている「ミーティングに参加」をクリック(タップ)します。

3. **ステップ 3**: ミーティングIDと名前を入力してから参加

事前に先生から, メールや文書でミーティングIDやパスワードが知らされます。

ミーティングID: 123456789

<https://zoom.us/j/123456789>

☆ミーティングIDは, このようなURLでお知らせする場合があります。

パスワード: *****

☆なお, パスワードが不要の場合は, この情報がないときもあります。

以下の画面で, IDを入力し, 参加ボタンをクリック。

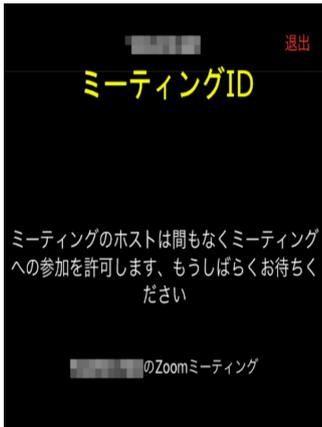
名前(画面上”おかしん”となっている部分)は, 自由に変更可能です。先生から事前に指定された自分の氏名等に変更してください。



オーディオやビデオの設定は, 後からでも変えられます。スマートフォンのマイクやカメラへのアクセスが求められたら”OK”を押します。

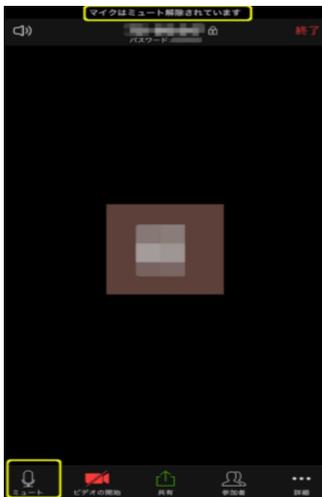
4.参加完了!

以上でズームの会議に参加完了です。



左のような画面になる時もありますが、これは会議の主催者つまり、授業を担当する先生が参加者の許可をすれば会議画面に変わります。

次の画面は会議(授業)に参加中の画面です。この図では「ミュート解除」された状態です。上部に現在の状態「マイクはミュート解除されています」と表示しています。



基本的に、授業の時はミュート状態で参加してください。ただし、質問や回答するときにミュートを解除してから発言します。

ミュートのオン/オフは、左下のマイクの絵があるミュートのアイコンをクリック(タップ)で変更します。

また、ビデオのオン/オフは、ミュートボタンの隣のボタンで切り替えます。これも先生の指示に従って設定してください。

ちなみに、ビデオオフ状態は、先生には次のように表示されています。

先生がスマホの場合

:あなたのアイコンが表示されます。

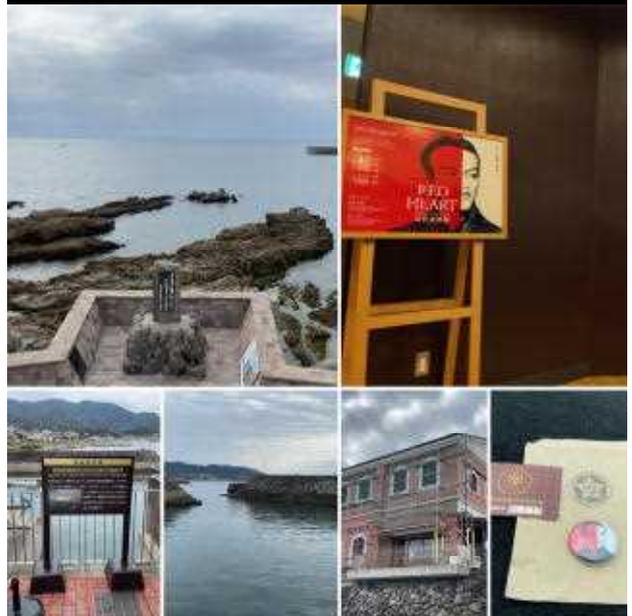
先生がPC(パソコン)の場合

:あなたの名前が表示されます。

以上でzoomを用いたオンライン授業への参加方法の説明を終わります。他のアプリを用いたオンライン授業も基本的には、ほとんど同じような操作になります。

【参考】オンライン授業を受けるときは、スマホ等を置くスタンド等がある方が便利です。また、マイク付きのイヤホンなども利用することを奨めます。機会があれば、どんどんチャレンジしてみましょう。

五代友厚について



いちき串木野市にある薩摩藩英国留学生記念館に、また行ってきました。今回は、2月11日から始まった特別企画展「RED HEART - 赤き心- 五代友厚展」を見るためです。

五代は薩摩藩の上級藩士の家の生まれで、薩英戦争で捕虜になった経験から英国留学の必要性を藩に上申し、薩摩藩使節(引率者)の1人として、19人の留学生に同行しました。また、「東の渋沢、西の五代」と並び称された経済人で、大阪経済界の重鎮の1人です。五代といえば、NHK大河ドラマ『青天を衝け』や連続テレビ小説『あさが来た』で、俳優のデーブ・ディジオカさんが好演したことで知られています。

五代の座右の銘が「赤心」だったということは、今回の訪問で知りました。この「赤心」には、「曇りのない真心」という意味があり、五代は書簡でたびたび使用しています。自らの利益を第一とせず、日本のために進言し、対立の中での交渉役や仲介役を引き受ける姿に感銘を受け、今の時代に必要な姿勢だと思います。



羽島から英国に向けて一行は出港(1865)しました。この羽島浜中港の工事(1847~1848)には、西郷隆盛(当時20歳)が藩の役人として加わっていたそうです。港の玉石積みの技術が大変素晴らしい景観です。